

2014 年度今後の予定

- 7 月 26 日 (土) 例会：今野進「金鉱山から都市鉱山へー将来への展望ー中外鉱業の場合」 村田淳「「オーストラリアの鉱山ー世界鉱山歴史会議報告ー」
- 7 月 31 日 (木) 海外鉱山文献読書会
- 8 月 23 日 (土) 第 39 回映像の会 海外鉱山文献読書会
- 9 月 NL (No. 96) 発行 海外鉱山文献読書会
- 10 月 海外鉱山文献読書会 下旬 合宿 (予定交渉中・黒川金山、小金沢金山ほか)
- 11 月 NL (No. 97) 発行 海外鉱山文献読書会
- 12 月 第 41 回映像の会 海外鉱山文献読書会 『鉱山研究』92 号原稿締切
- 2015 年 1 月 例会：(交渉中) 菊池今朝和「北アルプスの鉱山」高岡秀俊「伊豆の隠し金山」
海外鉱山文献読書会
- 2 月 海外鉱山文献読書会 NL (No. 98) 発行
- 3 月 伊豆巡検 (伊東市郊外金山、河津の金山、ほか) 海外鉱山文献読書会
『鉱山研究』92 号発行
- 4 月 総会

『鉱山研究』原稿募集

締め切りは 2014 年 12 月末日。できればメールで完成原稿 (著者校正無し) を村田にお送りください。

完成原稿でない場合は村田に連絡をください。その場合、原則として入力料金がかかります。

送り先・連絡・問い合わせ先：

〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

村田 淳

電話・Fax：045-401-5259

メール：sunao-murata@y8.dion.ne.jp

定例会案内

7月7日～11日にオーストラリアのチャーターズタワーで、第10回国際鉱山史会議が開催されます。開催地はクイーンズランド州中東部にあり、1871年に金が発見されゴールドラッシュで栄え、同州第二の都市となった。現在も周辺地域で採掘がおこなわれている。日本からは、市原博、今野進、村田淳が参加します。

そこで報告をする今野さんの演題と村田が報告します。

また遠田義則さんが、報告のあいまに、足尾歴館での写真展のお礼をかねて、遠田さん作曲のギター演奏をします。「草原の松木（秋）」とドイツの画家ベクリンの「死の島」に着想をえた「死の島」の2曲を演奏します。

日時：7月26日（土）午後1時～5時

会場：物流博物館2階 品川駅高輪口から徒歩5分

〒108-0074 東京都港区高輪4丁目7-15

電話：03-3280-1616 地図など：www.lmuse.or.jp/

演題：今野 進「金鉱山から都市鉱山へー将来への展望ー中外鉱業の場合」

村田 淳「鉱山史会議の様子とオーストラリア鉱山概観」

第39回鉱山の映像を観る会のご案内

丸山もとこ

映像の会ではこれまで何回も田中正造を特集してきましたが、田中正造関係の映像はまだまだあるようです。今回上映する「赤貧洗うがごとき～田中正造と野に叫ぶ人々～」（2006年）も、当会でまだ一度も取り上げたことのない作品です。谷中村廃村（1906年）100年を記念して企画・制作されたドキュメンタリー映画で、社会派の記録映画を多く手掛けてきた監督による作品です。その他関連映像も用意しております。

皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】2014年8月23日（土）開場 13:00 上映開始 13:30 解散 17:00

【会場】渋谷区立勤労福祉会館 2F 第四洋室

【会費】無料

【上映内容】池田博穂監督「赤貧洗うがごとき：田中正造と野に叫ぶ人々」（95分、2006年）ほか

※解散後、懇親会を予定しておりますので、お時間のある方はご参加ください。

※ご意見ご要望のある方は、〈jmrs.eizonokai@gmail.com〉までご連絡ください。

海外鉱山文献読書会のご案内

丸山もとこ

近年、国際会議に出席したり、海外の鉱山を見学する機会が増えています。そこで、英語で著された鉱山文献を読み解く勉強会を月一回のペースで行っています。文献を通して海外の鉱山史と鉱山事情を学ぶほか、英語の専門用語に慣れることを目的としています。この勉強は海外で活動するうえで欠かせません。英語が苦手という方こそ、奮ってご参加ください。

【テキスト】 *Gold*. ロンドン自然史博物館刊行, 1999 年. 次回は p. 52～

【次回】 2014 年 7 月 31 日 (木) 15:30～

【会場】 JR 田町駅周辺 (参加希望者にご連絡ください)

【会費】 なし ただしテキストは自分で用意してください

【ウェブサイト】 <http://www.jmrs.sakura.ne.jp/reading/>

【連絡先】 jmrs.dokushokai@gmail.com

【注意事項】 参加希望者は必ず事前にご連絡ください

昨年春から読み始めたテキスト「GOLD」もそろそろ終わりに近づきました。秋からは新しいテキスト (読書会にとって 5 冊め、タイトル未定) になります。この機会に参加を考えている方は、ぜひ上記連絡先までご連絡ください。

名簿作成についてのお願い

会員同士で教えあい、情報を交換するために名簿が必要です。海外の研究者は公開するのが原則です。もちろん名簿は会員のための配布です。

公開してよい項目、氏名、電話、メールアドレスなど。を村田にメールやほかの方法でお知らせください。

鉱山研究会HPの案内

例会、合宿、映像の会、巡検などの案内や過去の記録を掲載しています。また情報交換のページもあります。

例会案内やそのほかの案内は早めに掲載されます。

海外の鉱山研究会や行事を閲覧することもできます。

<http://www.jmrs.sakura.ne.jp/>

総 会 報 告

村田 淳

2014年4月26日（土）午後 報告会の後、17時から約1時間
法政大学市ヶ谷キャンパス
出席者12人

司会川俣修壽、会長村串仁三郎から、前年度活動報告（ニュースレターNo. 94に掲載）と今年度活動計画の後、前年度会計と今年度予算を報告。

一括承認の動議があったが、会計監査報告にある通り、総会直前に会計担当と会計監査担当が辞任・退会しており、会計担当の署名・承認印がなく、会計監査を経していない会計報告のため、説明を求めた。一応の説明があったが、この動議は否決された。

次いで、役員選出を行い、以下の役員と交代し、新たな体制になった。

10年以上にわたって、役員を担っていただいた、村串仁三郎元会長、川俣修壽元事務担当、久保敦子元会計担当、興野 喜宣元会計監査には感謝申し上げます。

新しい役員は以下が就任しました。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

会長：村田 淳（当分の間、事務所を置く）

会計：齋藤和美

HP・映像の会・海外鉱山文献読書会：丸山もとこ

情報収集：石川孝織 平塚尚護

会計監査：工藤教和

村田 淳挨拶

1972年ローマクラブが『成長の限界』という報告をしました。天然資源は、エネルギー資源も鉱物資源もいずれ枯渇する、という内容です。すでにその限界が表れていて、スクラップを原料とする都市鉱山が進められています。持続可能な社会での鉱山のありかたを、どう考えていけばいいのでしょうか。

こんな現状をふまえて、過去の鉱山、鉱業やその社会の歴史を研究し、今後どうすべきなのかを考えます。

研究会としては鉱山に関する事柄を様々な分野から広く取り上げ、金属鉱山や炭鉱や国内・国外を問わず扱っていきます。

鉱物の発見の初期から、鉱山の生み出す産物は世界商品であり、資金も資本も世界を駆け巡ってきました。一国の一鉱山だけを対象にしては理解できないことがたくさんあります。国内だけでなく国外の研究者と交流し、情報を交換したい。

鉱山研究会は、改名前の金属鉱山研究会が創立された、1973年11月から42年になり、約半世紀ほど継続しています。先輩諸氏の努力の結果を受け継いでいきましょう。

皆様の積極的な参加と貢献をお願いします。

今年度活動計画

村田 淳

前年度会計の混乱を收拾したが、ほぼ確定できた。その結果、諸種の工夫をすれば、最初のページにある今後の予定の活動はできる模様。

しかし、財政上の困難があり、特に新しい企画・事業は行わず、できるだけ前年度の事業を維持する。

①NLのメール配信は、会員にメール配信に慣れていない人が多く、読まれないおそれがあるため、従来通り、郵送配布とした。

②会員の管理が不明の部分が多かったが、現在の所52名と確定した。かなりの減少となっている。

会員を増やす手立てをこうじる。特に現役の鉱山従事者の入会を求めたい。

③会員の中には、地方在住のためなどの事情で例会や勉強会などに参加できないことが多いので、そのような会員のための手立てをこうじる。

④会員相互間の情報交換を促進するために会員名簿を作成する。項目は会員自身の選択とする。会員のみに配布。

⑤例会、合宿、映像の会、海外鉱山文献読書会、伊豆巡検、合宿を実施する。

⑥会誌は会員の研究成果の発表の場として欠かせないので、継続発行する。制作原価を下げることで、可能の見通し。会員は投稿料なし、会員外は投稿料が必要。

⑦会費は財政が苦しく、年会費6,000円を維持する。

⑧会報の販売価格は原価を考慮して値上げする。

⑨会則は設定以来見直しがなく、改定する。

⑩ホームページをさらに活用する。

なお予算の具体的な数字は次号に掲載します。

お願い

会員の皆様のご希望・ご意見を役員にお送りください。